

## 基本的教育と識字率向上月間 リソースのご案内

< RI ページ > \*タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

### ➤ 教育の支援

読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。

### ➤ 奉仕プロジェクトセンター

奉仕プロジェクトセンター(旧ロータリーショーケース)では、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。奉仕プロジェクトセンターを初めてご利用の際には、[奉仕プロジェクトセンターへようこそ](#)をご覧ください。

### ➤ ロータリー行動グループ

ロータリー行動グループは、クラブが地域社会を強化するための持続可能かつ効果的な奉仕プロジェクトを立案するのを支援します。プロジェクトの計画と実施に関してクラブに助言を与え、パートナーや資金、リソースを探す手助けをしてくれます。

### ➤ パートナー

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。

## < ラーニングセンター >

本月間に関連するコースもごございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< **各種資料** > 印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

➤ **ロータリーの重点分野**

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。

💡 当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

➤ My ROTARY [「グローバル補助金」](#)

➤ [重点分野の基本方針](#)

➤ [「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン](#)

< **ウェブ掲載記事** >

➤ **[手作りの絵本をケニアの子どもたちに](#)**

2022年5月、ケニアのスラム街にいる子どもたちの就学の状況・識字率の低さを知り、そのような子どもたちでも文字を読める喜びを知ってほしいという気持ちから、「高校生の手作り絵本をケニアの子どもたちに届ける」プロジェクトを始めました。

(2024年6月、ロータリーボイスより)

➤ **[世界初！ローターアクトクラブ提唱によるグローバル補助金が承認](#)**

2022年5月、ケニアのスラム街にいる子どもたちの就学の状況・識字率の低さを知り、そのような子どもたちでも文字を読める喜びを知ってほしいという気持ちから、「高校生の手作り絵本をケニアの子どもたちに届ける」プロジェクトを始めました。

(2024年6月、ロータリーボイスより)

➤ **[母国に捧げる歌](#)**

シンガーソングライターのギャビー・モレさんは、10代の頃にレコード契約を交わしてロサンゼルスに引っ越しました。これまでにボノ、アンドレア・ボチェリ、トレイシー・チャップマン、アーニー・ディフランコ、ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブらと共演しているほか、ディズニー初のラテン系プリンセスである『アバローのプリンセス エレナ』のテーマソングも歌いました。しかし、グラミー賞にノミネートされたこともあるモレノさんにとって最も特別なコンサートの一つは、2月、母国グアテマラにある小さな農村で行われたものです。

(2023年6月、ニュース・特集記事より)

➤ **[本が読めるのは何よりも素敵な贈りもの](#)**

今年4月、国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長がグアテマラ高地の農村にある小学校を訪れたときのこと、「この国の大統領になりたい人は誰？」と尋ねると、生徒たちの手が一斉に上がりました。ロータリーが支援する読書プログラムが村で始まる前は、生徒たちが2、3年で退学してしまうことがよくあったそうです。「読書は私たちの社会を変えるでしょう。読書は無知を克服するための強力な手段です」と、校長のヴィルマ・ニゼス・モレイラさんは話します。

(2022年8月、ニュース・特集記事より)

▶ [女兒を誰ひとり取り残さない](#)

2021-22年度ロータリー会長シェカール・メータ氏は、次のように述べました。「多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に女兒に焦点を当てています」

(2021年12月、ロータリーボイスより)

▶ [未来を変える識字](#)

国際ロータリーの会長に就任するずっと前から、シェカール・メータ氏は意欲的な目標を定めることで知られていました。難題にも果敢に取り組む、成果を上げるという評判をもつメータ氏に、カルヤン・バネルジー元 RI 会長は 2014 年、インドの識字率 100% を目指す取り組みを一任しました。これはインド政府も多くの NGO も果たせていない目標です。

(2021年11月、ニュース・特集記事より)

▶ [教育のためのグローバルパートナーシップとロータリーが協力](#)

ロータリーは 2020 年 4 月、教育の向上とジェンダーの公平さを推進する複数のステークホルダーのパートナーシップに基づく国際基金「教育のためのグローバルパートナーシップ」(GPE) と協力関係を結び、以来、各地でインパクトを生み出しています。

(2021年11月、ニュース・特集記事より)

▶ [視覚障がい者教育のための教師研修: ブラジルと日本のクラブによる協力活動](#)

視覚障がい者の教育を支援するにしても、そのための訓練を受けた教師がいなければ実現は困難です。そこで、ブラジルのロータリー会員は、専門スキルのある教育者を増やすために、教育支援団体 Dorina Nowill 財団とのパートナーシップを結びました。

(2021年11月、ロータリーボイスより)

▶ [ラダック成人女性識字プロジェクト](#)

ラダックは、ヒマラヤ山脈の西の端に位置するインドの自治州で、住民はチベット仏教の敬虔な信者です。国際ロータリー第 2780 地区とインドのニューデリー・ロータリークラブが、グローバル補助金を得て実施したこのプロジェクトによって、2015 年ラダックの州都レーに 3 つの識字教育センターが開かれ、2017 年 8 月の時点で 87 名の成人女性が読み書きを身につけました。

(2020年8月、ロータリーボイスより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ ロータリーボイス(日本語)は» [こちら](#)

## < 映像資料 >

- [女性の支援に立ち上がる女性たち](#) [日本語字幕、1分24秒]  
フェアトレードの製品とサービスを提供する非営利団体「Seven Women」は、ネパールの女性たちのエンパワメントを目指して、メルボルン・ロータリークラブ(オーストラリア)会員のステファニー・ウラードさんと元ロータリー平和フェローによって2006年に設立されました。収入向上と自立のために、女性たちはスキル、読み書き、資産管理の研修を受けます。
  
- [Rotary Supports Education](#) [日本語字幕、1分37秒]  
子どもの教育と成人の識字率向上の分野でのロータリーの活動を紹介しています。

■ブランドリソースセンターの動画一覧は» [こちら](#)   ■YouTube は» [こちら](#)

- ポリオ根絶に関する各種リンク» [ブランドリソースセンターにあるポリオ関連リソース](#)
  - » [世界ポリオデーのリソース](#)
  - » [クラブのポリオ根絶活動 記録用フォーム](#)
  - » [ポリオ根絶への折れない心\(ロータリーボイス\)](#)
  - » [ポリオ根絶への投資がもたらす大きなリターン\(ロータリーボイス\)](#)
  - » [ポリオ根絶に関する分科会で力強いメッセージを発信\(ロータリーボイス\)](#)

■利用規約は» [こちら](#)